

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定である。

2. 招集について

(1) 招集所は、100m スタート地点のゲート付近に設ける。

(2) 手順

①一次招集

招集所にてスタートリストの自分の番号に○をつける。ナンバーカード・スパイクピン、商標の点検は現地で受けるのでまずは自分で確認しておく。トラック競技は持参した「腰ナンバーカード」をつけておくこと。(リレー種目の第4走者も忘れないようにすること。)ただし、決勝については「腰ナンバーカード」を競技者係で配布するので、それを使用すること。

②二次招集

トラック種目はスタート地点、フィールド種目は競技場所で行う。その際、ナンバーカード、スパイクピン、商標、腰ナンバーカード(トラック種目)の点検を受ける。

③点呼の代理人は認めない。但し、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに本人が競技者係に申告すること。その場合に限り、代理人の点呼を認める。また、競技については本人がフィールド審判に申し出て、トラックの方を先に行うこと。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意志がないものとみなし処理する。

(4) 招集完了時刻は下記の通りとする。なお、種目別の招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記入されている。

	一次招集完了時刻	二次招集完了時刻
トラック	30分前	10分前
フィールド	50分前	30分前
棒高跳	90分前	30分前

(5) リレー種目

①リレー種目のオーダー用紙は、受付時に手渡しする。リレーメンバー以外から起用する場合は、必要事項を忘れずに記入すること。オーダー用紙は、第1組の招集完了時刻の60分前までに競技者係(招集所)に提出すること。提出がない場合は、出場する意志がないものとみなし処理する。(決勝以降のオーダー用紙の配布は総務席で行う。)

②出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(2)の②に準ずる。

③オーダー用紙提出後の選手変更は認めない。ただし、怪我等の急なアクシデントにより、メンバーの出場ができない場合のみ、本部が指定した医務員の判断によって、変更が認められることがある。

(6) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までにプログラム巻末またはアスリートランキング.com上にある「欠場届」に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。

(7) 混成競技

①第1日目、第2日目ともに第1種目については他の種目同様、競技者係の点呼を受ける。第1日目、第2日目ともに2種目以降については、混成競技者係の指示で各競技場所へ移動し、点呼を受けること。最終種目については現地にて混成競技者係から「腰ナンバーカード」をもらい、点呼を受ける。

②招集時刻については、プログラムの競技日程欄に記載されている通りである。(第2種目以降、完了時刻をトラック10分前、フィールド30分前とする。)

3. 競技進行について

(1) 番組編成およびラウンドの通過について

- ①トラック競技のレーン順、およびフィールド競技の試技順は、全てプログラム記載のとおりとする。決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、アスリートランキング.com 上で発表する。
- ②トラック競技において、次のラウンドへの出場者を決める時、その最下位で同タイム者(1/100 秒)が出た場合は、写真を拡大して精査し優劣の判定をする。レーンに余裕がある場合に限り同タイム (1/1000 秒単位) の選手の進出を認める。レーンに余裕がない場合は本人または代理人による抽選を行う。ただし、800mとオープン・レーンを使用する種目は、同タイム (1/1000 秒単位) の競技者は全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

- ①スパイクのピンの長さは9mm 以内とする。ただし、走高跳・やり投については12mm 以内とする。いずれの場合も本数は11 本以内とする。
- ②ナンバーカードは指定された大きさでユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでよい。
- ③男子 5000m、女子 3000m はグループスタートで行う。
- ④トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- ⑤フィールド競技において、コーチの競技者に対する助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席等に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席で行うこと。
- ⑥競技区域内（招集所内含む）に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は、失格の対象となる。なお、フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所で見、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域に持ち込むことは認めない。
- ⑦競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。
- ⑧招集所からスタート地点、跳躍場、投てき場へ行く場合、競技者係の指示に従うこと。
なお、男子三段跳の踏切板は12m00cm、女子三段跳の踏切板は10m00cm に設置する。

(3) 走高跳、棒高跳びのバーの上げ方は下記のとおりとする。（ ）内は公式練習の高さである。

男子走高跳	決勝	(165) 160 165 170 175 180 185 188 191 194 197 200 (188) () 選手の実力に応じて追加することがある	以後3cmずつ上げる
女子走高跳	決勝	(140) 135 140 145 150 153 156 159 162 165 168 (155) () 選手の実力に応じて追加することがある	以後3cmずつ上げる
男子棒高跳	決勝	(330) 280 300 320 340 350 360 370 380 390 400 410 420 430 440 450 456 461 466 以後5cmずつ上げる (410) () 選手の実力に応じて追加することがある	
女子棒高跳	決勝	(180) 200 210 220 230 240 250 260 270 280 290 300 310 320 326 331 336 以後5cmずつ上げる (250) () 選手の実力に応じて追加することがある	
八種競技走高跳		140 145 150 155 160 163 166 公式練習の高さ及びピットについては選手の実力に応じて、現地で決定する	以後3cmずつ上げる (1ピット)
七種競技走高跳		120 125 130 135 140 143 公式練習の高さ及びピットについては選手の実力に応じて、現地で決定する	以後3cmずつ上げる (1ピット)

*同記録による1位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cm とする。

- (4) リレー競技に出場するチームは、上衣は同一ユニフォーム、下衣は同色で参加しなければならない。
- (5) 競技運営上の理由により、以下の種目において下記のタイムを超えて周回を残している場合は、フィニッシュ地点で競技を中止させることがある。 男女 5000m 競歩;35 分 00 秒
- (6) オープン種目については記録会形式とし、次ラウンドへの進出は行わない。

4. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。なお、やりの検査は競技開始時刻の90分～60分前までとし、100m スタート側の倉庫前で行う。以前の検査シールは剥がして持参すること。（日本陸連の検定シールは剥がさない。）

5. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟規則により、所定の手続きをとるものとする。

6. 表彰について

- (1) 各種目3位までの選手を表彰する。（賞状は6位まで授与するので顧問にまとめて配布する。）成績発表後5分以内に本部席前に集合すること。必ず競技服装で集合し、出席できない場合は代理人を立てること。
- (2) 表彰及び学校対抗得点については、A決勝進出者8名のみ該当し、B・C決勝からの繰り上げは行わない。

7. その他

- (1) 顧問及び引率責任者(代理)の出席(審判)なき場合は、選手の出場は認めない。なお、競技役員受付を必ず通過すること。
- (2) ウォーミングアップは、補助競技場(2日目のみ球場A)で行うこと。ただし、投てきの練習は、招集完了後、役員の指示により行うのでウォーミングアップ時の補助競技場等での投てき練習は一切行わないこと。
- (3) 応援は密にならないように工夫すること。また、集団での連呼応援は自粛すること。（特にトラック競技のスタート直前は注意すること。）
- (4) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。
- (5) 競技中に起こった怪我については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (6) 各校で使用した場所は、各校で責任をもって清掃し、ゴミはすべて持ち帰ること。
- (7) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、必ずスタンド下の通路や競技場の外側を使用すること。通行禁止や使用禁止の表示がある場合は、厳守すること。
- (8) 本部席前は通行を禁止する。許可された者(補助員)以外は通らないこと。また、審判長、総務、アナウンサー前での助言は競技会運営に支障を来たすため行わないこと。
- (9) 選手といえども自分が出場している時以外は、応援または付き添いのために競技場内に立ち入らないこと。
- (10) メインスタンドのテント設置および横断幕・のぼりの貼り付けは、全面禁止とする。横断幕はサイド・バックスタンド後方のみとする。テントの設置については別途連絡する。
- (11) 各校待機場所がトイレ前や通路、階段をふさぐことのないようにすること。
- (12) 商標規制については日本陸上競技連盟規則に準ずる。
- (13) 公園内・サブトラックでは、メディシンボール、チューブ等の使用を禁止する。トラック上に競技場備え付けの用具以外のものを設置してはいけない。
- (14) 盗撮行為等を防止するため、各校に撮影許可証(腕章)が配布されている。関係者が撮影する際には必ず腕章を着けること。